

# 「気」を高めて健康増進

## 盛岡市の明仁堂 中国鍼灸を10年修業 開業の太田さん

盛岡市の太田征志さん(45)は2千年以上の伝統がある中国鍼灸(しんきゅう)を現地で10年間学び、5月末、はり・きゅう治療院「明仁堂」(同市仙北2の10の2)を開業した。鍼灸と漢方を柱とする「中医学」は、生命エネルギーである「気」を重視。気の循環を促進することで、心身の自然治癒力を高めていく。郷里での伝統鍼灸の実践を通じ、健康増進に貢献したいと意欲を燃やす。

太田さんは盛岡市出身。しかも「老中医」が全身。仙台市の赤門鍼灸柔整専門学校在学中、中国で老中医(中国国

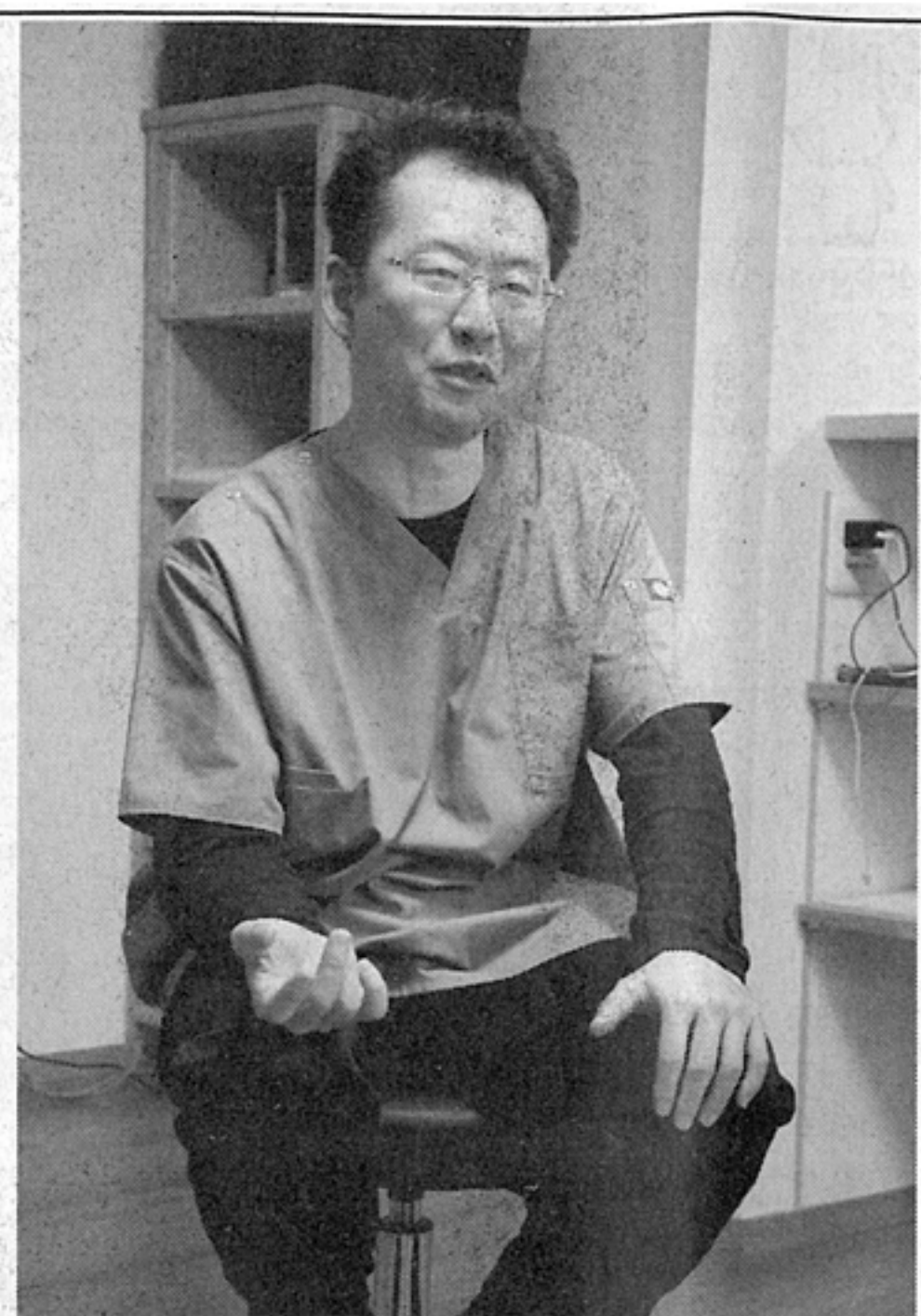
家認定の鍼灸名医)の治療を受け、そのレベルの高さを実感。「一生の仕事にするなら本物の業を身に付けたい」と日本の鍼灸、あん摩マッサージ指圧師の資格を取得後、2008年に中国へ渡った。

中医学は中国人にとって「国宝」のような存在。軽々しく外国人に教えることはない。しかも「老中医」が全中で、少しづつ信頼関係を築いていったという。

そこで目の当たりにしたのは、中国の人々の中に根付く「気」の文化の深さと師匠が打つ鍼の効果。日本人に比べ、中国人は何倍も「気」のエネルギーにあふれ、鍼灸によって引き出される力も強い。「中国の人たちと同じ感覚になるのに7、8年はかかった」と太田さん。10年を経

て師匠とは実の親子以上の絆を結び、日本での開業を認めてもらった。帰郷し、改めて周囲を見ると「気」の力が弱く不健康な人が多いと感じる。「普段から『気』を蓄え、流れを整えて養生しておくことが、老いない、けがをしない、病気になる体を作る。それを理解し、自分自身で健康を管理できる人を増やしていきたい」と力を込める。

米穀店だった実家店舗を治療院に改装。腰痛、肩こり、更年期障害、睡眠障害、胃腸虚



「気」の流れの重要性を語る明仁堂院長の太田征志さん